

2020年9月28日
株式会社 鹿児島銀行

レンゴー株式会社様向け「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」のシンジケートローンへの参加について

鹿児島銀行（頭取 松山澄寛）は、レンゴー株式会社様向け「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」（以下「PIF」）のシンジケートローンに参加しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 内容

PIFは、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱したポジティブ・インパクト金融原則に即したものであり、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。企業によるSDGs達成への貢献度合いを評価指標として活用し、情報開示することが最大の特徴です。

本件に係るインパクト評価は、シンジケートローンのアレンジャーおよびエージェントである三井住友信託銀行株式会社（取締役社長 橋本勝）が実施しており、PIFでの融資は当行として初の取り組みとなります。

当行は、本件への取り組みを含め、SDGsの目標達成に資するお客さまの事業活動を支援するとともに、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

2. シンジケートローン概要

借入人	レンゴー株式会社
契約締結日	2020年9月28日
アレンジャー／エージェント	三井住友信託銀行株式会社
組成金額	50億円
資金使途	運転資金
貸付人	当行を含む複数の金融機関

【ご参考】

- ・レンゴー株式会社

レンゴー株式会社（本社：大阪府大阪市）は、製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の6つのコア事業を中心に、あらゆる産業の全ての包装ニーズをイノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」＝GPIレンゴーとして、“Less is more.”をキーワードとする、より少ない資源で大きな価値を生むパッケージの開発に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献されています。

・国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）

国連環境計画（UNEP）は、1972年に「人間環境宣言」および「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。UNEP FIは、UNEPと200以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と強調し、経済的發展とESGへの配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

・ポジティブ・インパクト金融原則

UNEP FIが2017年に策定した、SDGsの達成に向けた金融の枠組です。企業がSDGsの達成への貢献をKPIで開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くものです。

融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認します。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

鹿児島銀行 経営企画部 サステナビリティ推進室

TEL：099-239-9725（ダイヤルイン）